

エジプト日本学校(EJS)における
Tokkatsuの受容とその影響
——EJS教員対象インタビューの分析から——

○添田 晴雄 安部 恭子 土屋 愛 相庭 貴行 秋山 麗子

1. 本発表の目的

- 本発表では、現在、EJSを中心に普及している「特別活動を中心とした日本式教育」をTokkatsuと呼び、TokkatsuがEJSにどのように受容され、教科教育を含むEJSの教育にどのような影響を与えたかを、EJSの教員を対象としたインタビューをもとに考察することを目的とする。

2. 先行研究

- 杉田洋（2018）「エジプトでのTOKKATSUの現状と可能性」『日本特別活動学会紀要』第26号、1-7頁。
- Tanaka, Shinichiro. (2019). Tokkatsu plus in Egypt: Extending the Tokkatsu concept in Tsuneyoshi, R., Sugita, H., Kusanagi, K., & Takahashi, F. Tokkatsu: The Japanese educational model of holistic education. Singapore: World Scientific, pp. 225–250.
- 山田真紀（2023）「特別活動の海外展開—エジプト・インドネシア・モンゴルでのTOKKATSUの実践を中心に—」『椋山女学園大学研究論集 人文科学篇・社会科学篇・自然科学篇』第54号、201-221頁。
- 中島悠介（2018）「エジプトにおける“特別活動”を通じた日本式教育の導入と課題に関する考察：現地報道を手がかりに」大阪大谷大学教育学会『教育研究』43号、47-55頁。
- 中岡裕策（2020）『エジプトにおける特別活動を中心とする日本型教育の導入と受容に関する研究』（東京大学大学院新領域創成科学研究科修士論文）。

3. 調査の方法

- 2023年12月25～28日
- EJSの2校の教員合計5名
- 文部科学省EDU-Portニッポン「令和5年度 予測困難な時代の学びを保障する学習手法の共有と海外展開に関する調査研究」である「非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証に関する研究～日本型教育先進地エジプトにおけるTokkatsuの効果検証～」(研究代表：京免徹雄)の中に設置された「プロジェクトC 特別活動の現地化に関するインタビュー調査」(リーダー：京免徹雄)の研究メンバーのインタビューガイドライン

4. 分析の手順

- IC録音データの文字化
- 共同発表者の検討会で通訳の日本語を確定
- 戈木クレイグヒル滋子『グラウンデッド・セオリー・アプローチ 改訂版——理論を生みだすまで——』を参考にしながら、確定された日本文を改めて、「データ」とし、その「プロパティ」と「ディメンション」を抽出して検討を行い、「ラベル」をつけて、カテゴリー化を行った

5. 分析・考察の限界

- EJSはエジプトの公立学校を代表していない
- 被験者はEJSの教員を代表していない
- 通訳を通じたインタビューである
 - 質問者はエジプト語を理解していない
 - 通訳の日本語をデータに使っている
 - 通訳者の解釈や補足説明が「回答」に紛れ込んでいる可能性がある

6. 分析の結果

- 回答者①～⑤の切片数は以下のとおりであり、5人のインタビューの切片数は、合計279であった。
 - ①301～334：計34切片
 - ②501～543：計43切片
 - ③601～637：計37切片
 - ④701～773：計73切片
 - ⑤801～892：計92切片

7. 考察

- ① Tokkatsuの目的や意識を明確に意識している
 - [02 Tokkatsuのキーワード (3,3)]
 - [03 Tokkatsuの捉え方 (4,7)]
 - [27 掃除：児童の変化 (4,10)]
 - [04 エジプトの価値観とTokkatsu (3,4)]

7. 考察

②Tokkatsuによって児童が協力し合い、人間関係を深め、意見
が言える心理的安全性が構築された

[05 児童の変化（一般）（5,13）]

[09 児童どうしの人間関係：児童の変化（3,5）]

[08 協力すること：児童の変化（4,14）]

[10 特別ニーズの児童との仲間づくり（1,6）]

[18 他人の意見を聞く：児童の変化（4,7）]

[14 命令によらない注意の仕方：児童の変化（1,3）]

[16 意見を言える：児童の変化（3,9）]

7. 考察

③教師の手応え、児童の手応えがさらなる取り組みを生む

[28 掃除：教師の変化 (4,8)]

[22 決めたことを実行する：児童の変化 (3,6)]

7. 考察

- ④少数派と多数派による建設的な合意形成の芽生え
[19 少数派の意見（同調圧力の「懸念」）（5,20）]

7. 考察

⑤学級会への教師の指導のありかたが変化し、教育観が変化し、
教科学習へも波及する

[23 教師：学級会の指導の変化 (3,19)]

[33 教師の教育観の変化 (2,5)]

[34 教師自身の個人的な変化 (3,7)]

[30 Tokkatsuの教科学習への影響 (5,17)]

7. 考察

- ⑥ Tokkatsuにより教師集団も変化した
[31 教師集団の変化 (5,12)]

8. おわりに

——日本の特別活動実践への示唆

- 特別活動の手応えを推進に活かす
- 特別活動を教科学習の新しい学びに不可欠と説明する
- 「教師の特別活動」という説明する
- 少数派が簡単に引き下がらない中での合意形成のありかたを模索する